

日本工業規格（JIS）改正の概要

2016年4月20日付で、次の表に示す日本工業規格（JIS）が改正されたので、その概要を紹介する。

改正発行 JIS

No.	規格番号	規格名称	対応国際規格（一致程度）
1	JIS B 1554	転がり軸受—ロックナット、座金及び止め金	ISO 2982-2:2013 , Rolling bearings—Accessories—Part 2: Dimensions for locknuts and locking devices (MOD)

改正の概要

1. JIS B 1554（転がり軸受—ロックナット、座金及び止め金）

(1) 改正の背景

この規格は、1955年に制定され、現在まで6回の改正を行った。前回の改正は2005年（以下、旧規格という。）に行なったが、2009年に発行した旧規格の正誤票の内容を反映した上で、対応国際規格 **ISO 2982-2:2013** に整合させ、規格様式を最新のものにして改正した。

(2) 主な改正事項

- 規格票の様式を **JIS Z 8301** に適合した。
- 適用範囲（箇条 1）
ロックナットは“4切欠き形”と“8切欠き形”とに分け、座金は“直舌付き”と“曲げ舌付き”とに分け、曲げ舌付きを**附属書 A**に移動し、止め金は“止め金及び適用するボルト”とした。
- 量記号（箇条 4）
止め金及び適用するボルトの**図 4**に、ボルトの図及び注記“ばね座金などによってボルトの緩み止めを施してもよい。”を追加した。
- 呼び番号及び寸法（箇条 5）
止め金の呼び番号及び寸法の表に、“適用ナット呼び番号”及び“**ISO** 止め金 No.（参考）”を追加し、適合部品の関連性を明確にした。
- 許容差及び許容値（箇条 6）
 - 1) “公差”は、転がり軸受の分野で一般に使用される“許容差及び許容値”に変更した。また、“寸法公差”は“許容差”に変更した。
 - 2) **表 9**～**表 11**の許容差の“上限/下限”は、“U/L”に変更した。U及びLの説明は、**6.3**に追加した（U：上の許容差/L：下の許容差）。
 - 3) **表 9**の注^{b)}にロックナットのねじの有効径に対する座面の円周振れ *S* の測定位置を追加した。
 - 4) 呼び番号 AN106, AN112, AN120, ANL106, ANL112 及び ANL120 のロックナットのねじの有効径に対する座面の円周振れ *S* は、旧規格の 0.2 から 0.15 に変更し、**表 9**の注^{c)}に規定した。